

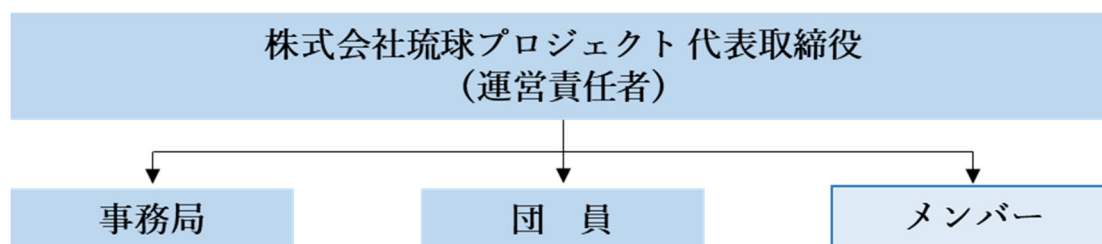
《 琉球舞団昇龍祭太鼓 活動規則 》

2022年6月26日

株式会社琉球プロジェクト

1. 団員区分

株式会社琉球プロジェクトに所属し当団の活動を主とする団員と社会人・学生を主とするメンバーで構成するとともに、演舞技術習得状況に応じて以下2つの区分で称する。



- 1) レギュラー団員（メンバー）：技術および技能試験に合格した者
- 2) 新人団員（メンバー）：上記1) に該当しない者

2. 入団要件

入団の年齢上限は原則として満30歳までとする。

- 1) 中学生以下の団員は保護者または保護者が依頼した成人の送迎を必須とし、保護者以外の者が送迎する場合、事前に運営責任者に連絡するものとする。
- 2) 体力的に団体の基準に沿い活動意志が強いと運営責任者が認めた場合、入団を許可する。

3. 練習

練習参加の基本項目を守り“一糸乱れぬ演舞”習得のため新人・レギュラーに関わらず切磋琢磨する。

- 1) 練習日程は、共有カレンダーにて各自確認・管理する
- 2) 練習参加の可否は、指定サイトにて各自が適時更新する
- 3) 練習参加時は以下の条件を満たすこと
 - ① 運動着（Tシャツ、ジャージなど）の着用
 - ② 装着可否区分（別表1）に準じたアクセサリ類の取り外し
 - ③ 装着可否区分（別表2）に準じた眼鏡等（視力矯正具以外を含む）の取り外し
- 4) 上記3) ②および③は演舞に支障のないこと重視し、各自の責任を以って遂行する

4. 練習体制

技術および技能習得において以下の活動を軸として行う。

- 1) 新人メンバーは、レギュラーメンバーの技術指導を受け技術および技能習得に励むこと
- 2) レギュラーメンバーは、新人メンバーの育成および自身の演舞力の鍛錬に励むこと

5. 技術および技能試験

基本動作の習得から始まり、各段階において技術および技能の習得状況を審査し、最終試験合格者をレギュラーメンバーとする。

なお、試験の実施は新人メンバーからの積極的・自主的な申出を受け実施することを基本とする。

	試験曲	審査方法
1	琉球マジック [撥回しの技術審査]	審査員 3 名に試験曲を披露し、審査員 3 名中 2 名が良とした場合、合格とする。
2	ミルクムナリ	
3	クーダーカー	
4	年中口説／地翔（じーとぅび）どーい	
5	1～4 通し [最終試験]	

6. 出演

新人・レギュラーに関わらず、昇龍祭太鼓の一員としての自覚を持ち、挨拶・行動・身だしなみを整え参加する。

- 1) 出演に係る出欠確認は、都度指定する所定サイトへ速やかに且つ適時状況更新する
- 2) 出演内容は太鼓・旗および幟持ち・獅子舞など、イベント毎に指示された内容に従事する
- 3) 出演時の衣装は所定のを着用する
- 4) 衣装着用時のアクセサリ類の装着は 3. 4) および（別表 1）を順守する
- 5) 衣装着用時の眼鏡等（視力矯正具以外を含む）の装着は 3. 4) および（別表 2）を順守する

7. その他

活動内容に応じ運営会社が不定期に開催する会議等を含め、積極的に活動に参加し昇龍祭太鼓の一員として意識・情報を共有すること

8. この規則は令和 4 年 6 月 26 日から適用する。

(別表1) アクセサリー類の装着可否区分

種別	練習時	出演時
ネックレス	※1	×
イヤリング・ピアス	×	×
指輪	※2	※2
時計	※1	×
その他(ブレスレット等)	※1	×
マニキュア・ジェルネイル等※4	○	※3
付け爪(取り外しのできるもの)※4	×	×

※1 スポーツ・健康用途があり、サイズ調整が可能で肌に密着できるものは可

※2 結婚指輪などの用途で常時装飾しているものは可

※3 ベージュ系に限り可(カラージェルの場合ベージュ系マニキュアで一時的な対応ができること)

※4 練習および演舞に支障のない長さを保つこと

(別表2) 眼鏡等(視力矯正具以外を含む)の装着可否区分

種別	練習時	出演時
眼鏡	※5	×
コンタクトレンズ	○	○

※5 スポーツ用として販売されているものは可